

加盟団体各位

公益財団法人日本アイスホッケー連盟
レフェリー委員会委員長 山内 秀貴
(公印省略)

2020-2021 シーズンレフェリーラインズマンに対する
新型コロナウイルス (COVID-19) 感染防止のお願い

謹啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。

平素は当連盟の活動に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスの感染は今現在も終息しておらず、国内の一部地域では感染者数が増加する等予断を許さない状況が続いております。

国内では、まだ全国大会など本格的な活動時期には至っておりませんが、練習試合など各地域で実施されてくると想定しております。既にレフェリー、ラインズマン向けには、オフィシャル間、チームスタッフ、プレイヤーに対する感染予防のための試合時の対応等は当委員会より通達により周知しています。

この度、チームスタッフ、プレイヤーの皆様へレフェリー、ラインズマンの感染防止のためにご協力いただきたいことを通知します。

競技関係者の皆様の協力なくして感染防止はできませんのでご理解ご協力願います。

1. フェイスマスク

顔面を負傷したことを確認するレフェリーが接近すること、手当てをするために他プレイヤー、チームスタッフおよび大会関係者が負傷者に接触する機会を減らすため、アジアリーグ以外の選手は、フルフェイスマスク着用を強く推奨します。

2. そのほかの防具

ヘルメット、マウスガード、ネックガードなどは、プレイ中はずれて、レフェリー、ラインズマンが拾うことがないように正しく装着してください。

3. 握手の禁止

試合前、試合後のレフェリー・ラインズマンとの握手はしないこととします。

4. ペナルティーベンチアテンダントについて

ペナルティーベンチアテンダントは、必ずマスクを着用し、ペナルティーを科されたプレイヤーがペナルティーボックスに入る直前にボックス内に入り、ドアの開閉を行いゲームがスタートしたら、ボックスから出て待機する事。

ペナルティータイムが切れる 10 秒前に再度、入室しドアの開閉作業をする事。

得点後にプレイヤーが氷上に戻る際はプレイヤー自らドアを開け、出ていく。その後ペナル

ティアーベンチアテンダントがドアを閉める。

(PB アテンダントも食品・医療用のゴム手袋着用を義務化致します。感染予防の為)

5. 試合中のプレイヤーズベンチ内のプレイヤー

プレイヤーズベンチのプレイヤーは、ラインズマンとの距離を保つため選手交代時以外は、ベンチに座る事。ゲーム中に交代以外の選手がボード沿いに立っているのをラインズマンが確認出来た場合は、そのラインズマンが、当該プレイヤーに注意する。

レフェリーが確認できた場合は、チームスタッフに注意する(発見時は、都度、注意する事)。また、クリアボードが設置されていないペナルティーボックスにいるプレイヤーも同様の措置とする。

6. 試合中断時のパック

試合中断時のパックは、選手からレフェリー、ラインズマンへの手渡しはしない。

プレイヤーは中断時のパックに触れない。

ゴールテンダーがパックを保持したことによりゲームが中断した場合、そのゴールテンダーはリンク上にパックを置き、ラインズマンがパックを拾い上げる事。

7. 新型コロナウイルスの改善策が国から明確に発信されるまで本通知の対応を継続し、解除する場合にはあらためて通知する。

以上